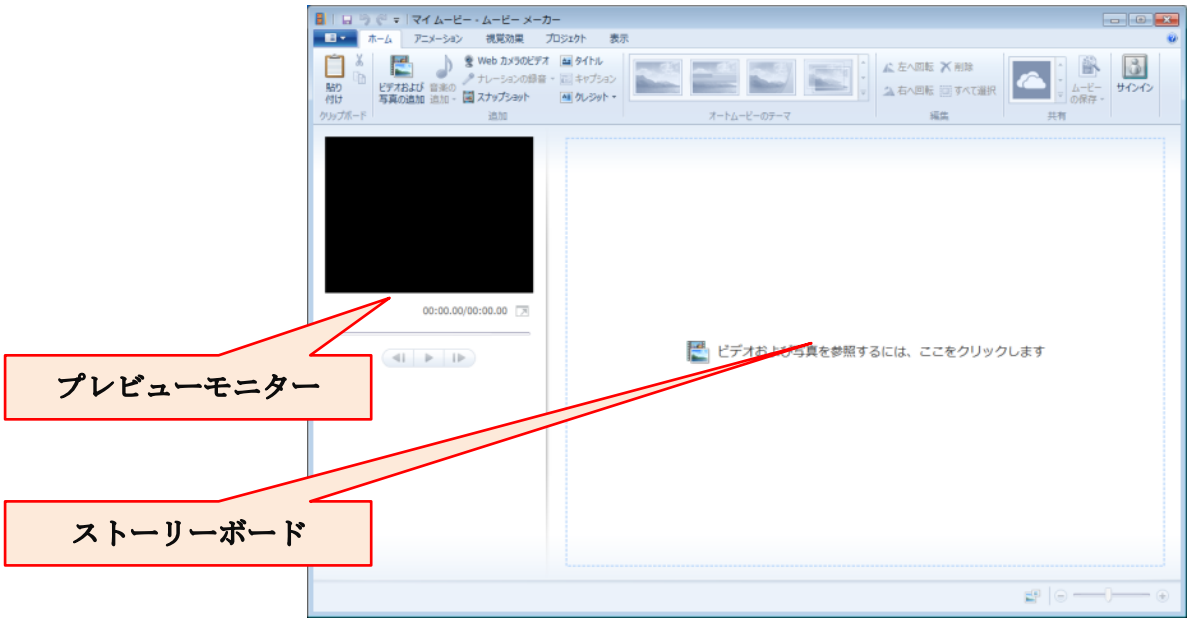
MovieMaker で写真を動画に編集

ビデオ編集ソフト「Windows ムービーメーカー」を使って、デジカメで撮した写真で動画を作成してみませんか。ムービーメーカーには Windows Live Movie Maker（Vista）と Windows Movie Maker(Win7 以降)の 2 種類がありますが動作や機能はほとんど同じようですので今回は、後者を使って説明していきます。

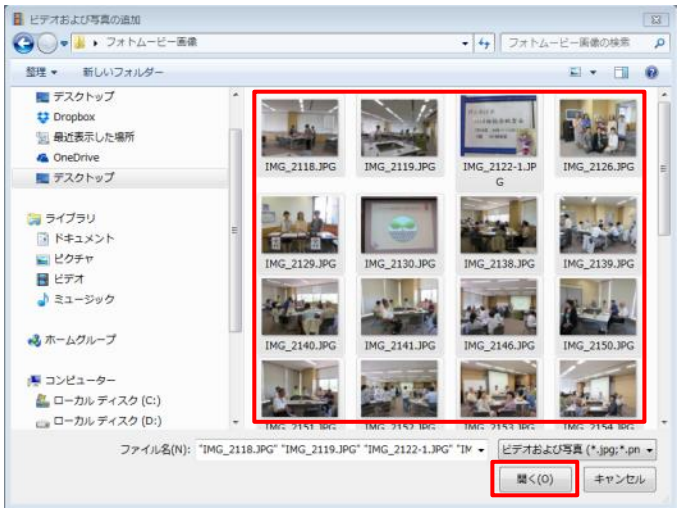
【動画編集に準備するもの】
・写真（動画編集サイズに余裕を持ったサイズで撮影）
・BGM ファイル（mp3、wma、wav 形式の音楽ファイル）
写真 1 枚 5 秒とすると 60 枚で約 5 分の動画を編集出来る

1．ムービーメーカーを起動します。



2．動画に編集する画像（写真）を挿入します。

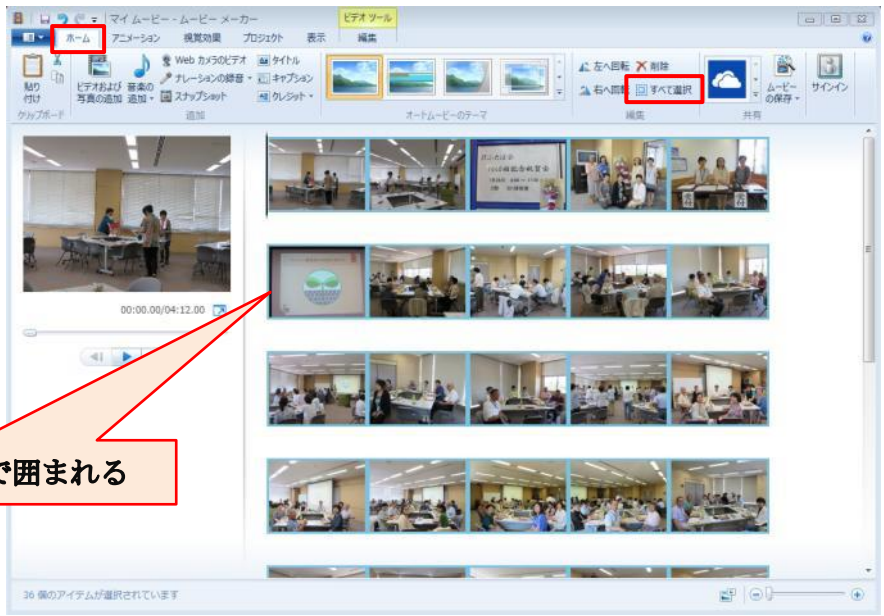
①ムービーメーカーを起動したら、画面右のストーリーボードをクリックします。
②ビデオ及び写真の追加ダイアログが開くので編集したい画像を選択して「開く」をクリックする。
もしくは画像ホルダーを開いて編集したい画像をストーリーボードにドロップしても取り込むことが出来ます。



３．取り込んだ画像を編集して動画を作成します。

①ホームタブを選択して最初の画像を選択する。

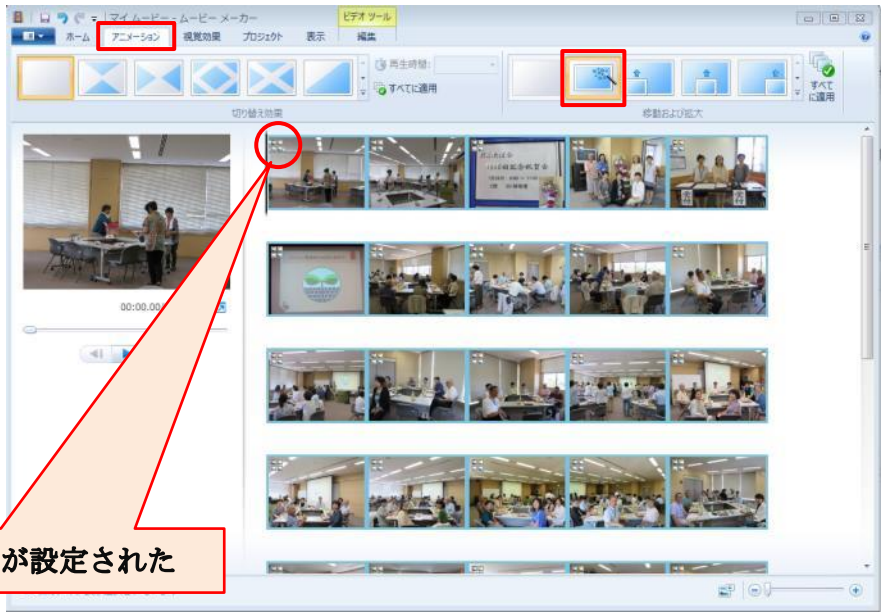
②編集グループのすべて選択をクリックする。



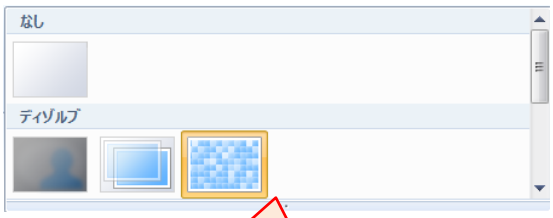
③すべての画像が選択されたのを確認して、アニメーションタブの自動アニメーションをクリックする。

④すべての画像にアニメーションが設定されました。
（アニメーションや画面の切替効果は個々に別の設定をすることが出来ます。）

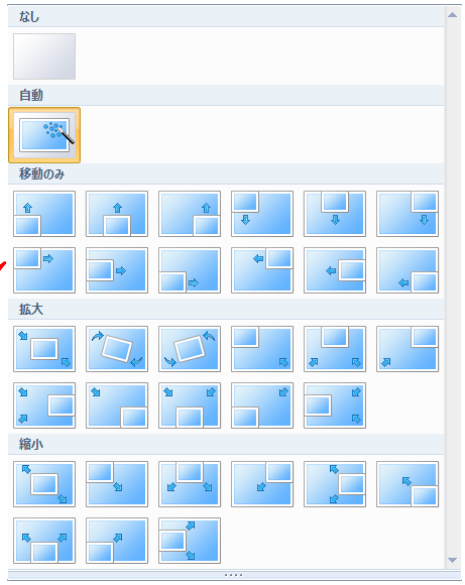
⑤設定が完了したら空白部分をクリックして選択を解除しておきます。



アニメーションと切替効果には次の種類があります。



切替効果の種類

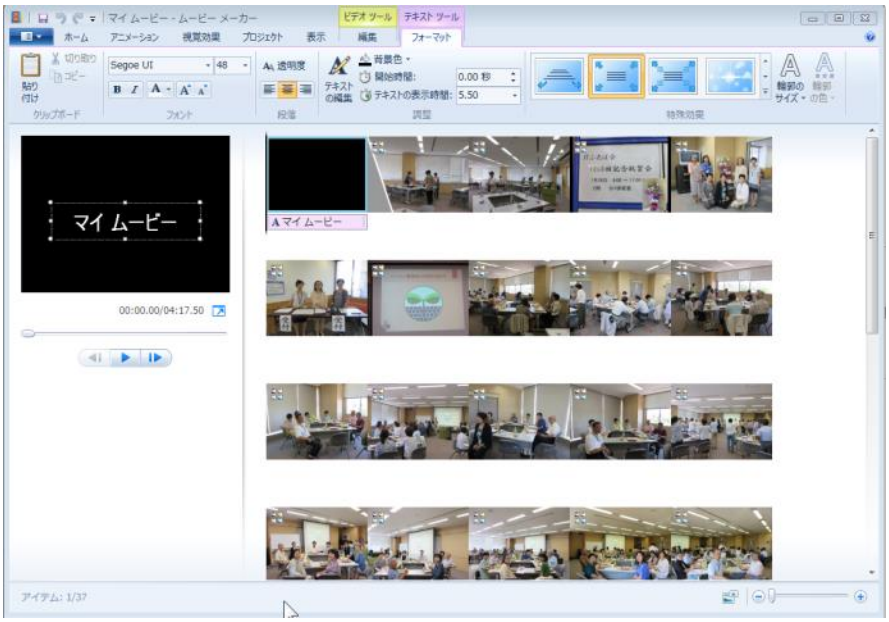


アニメーションの種類

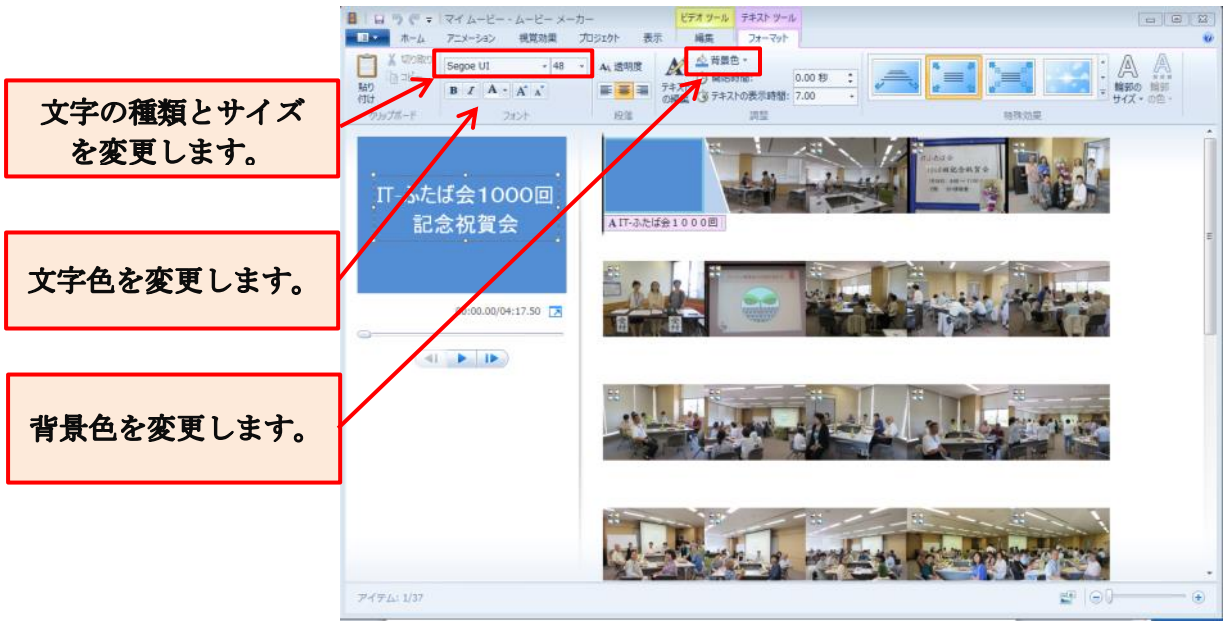
４．タイトルの作成。

①最初の写真を選択して、ホームタブからタイトルをクリックする。

②マイムービーをクリックしてタイトル名を入力する。



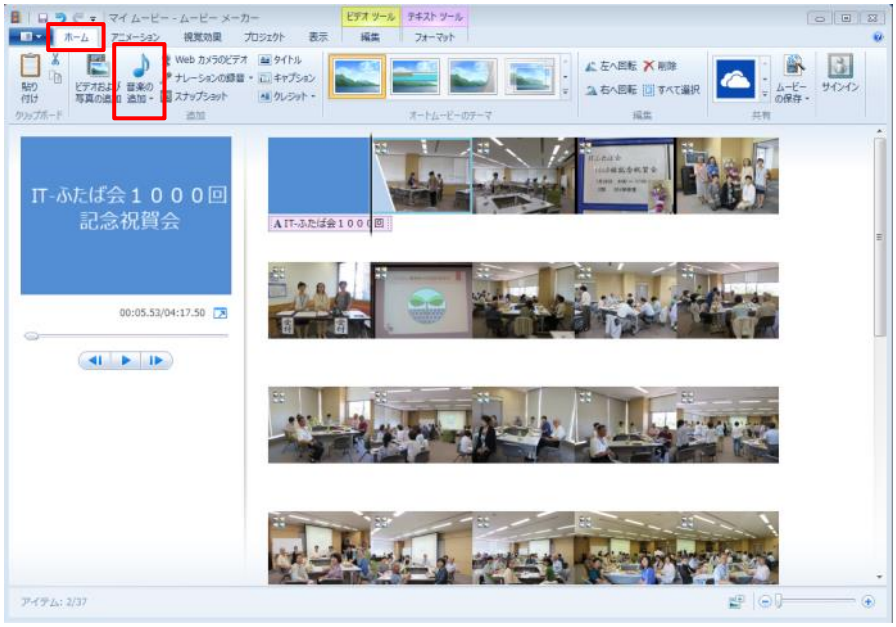
③タイトル画面の編集をします。



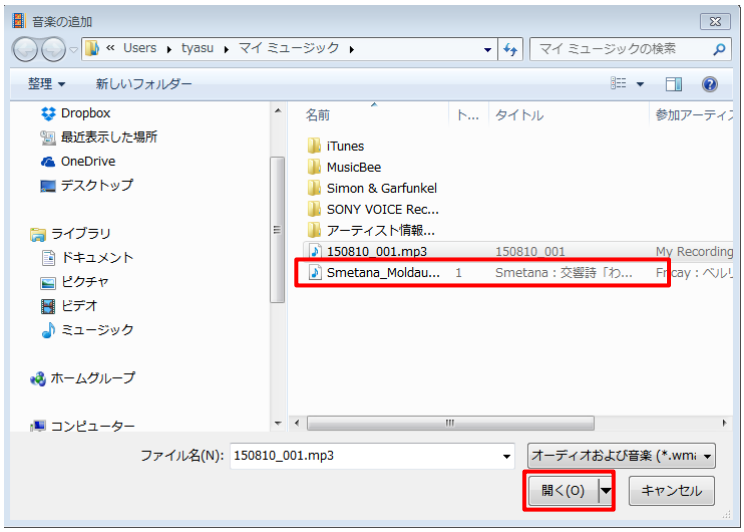
５．ＢＧＭを挿入します。

※ムービーメーカーで使用できる音楽ファイルの形式は、mp3、wma、wav に対応したファイルです
（対応していない音源ファイルは使用できませんので取り込むことが出来ません。）

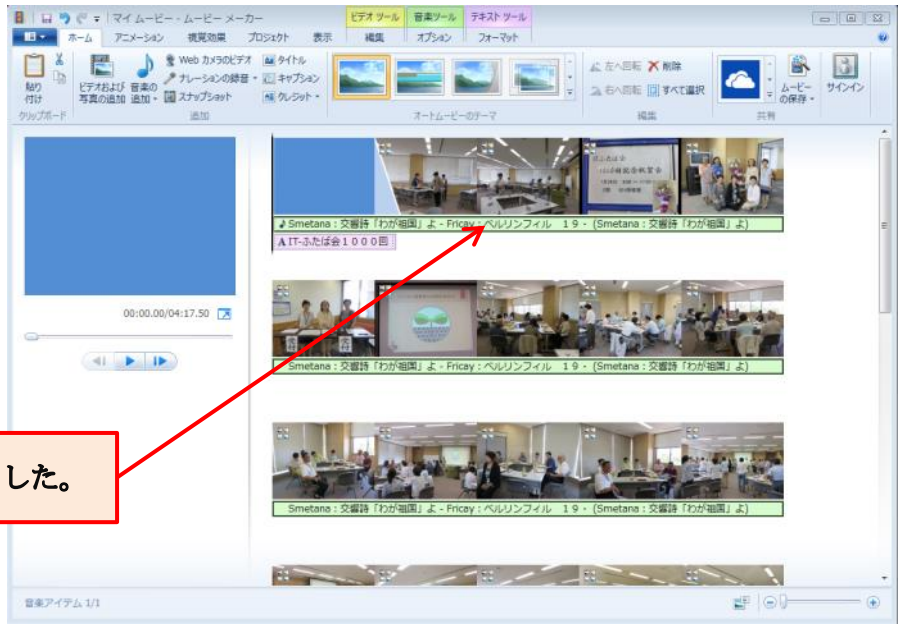
①BGM を挿入するには、挿入したい場所の画像を選択して、ホームタブ→音楽の追加をクリックします。



②音楽の追加ダイアログボックスが開くので、挿入したい音楽ファイルを選択して開くをクリックする。



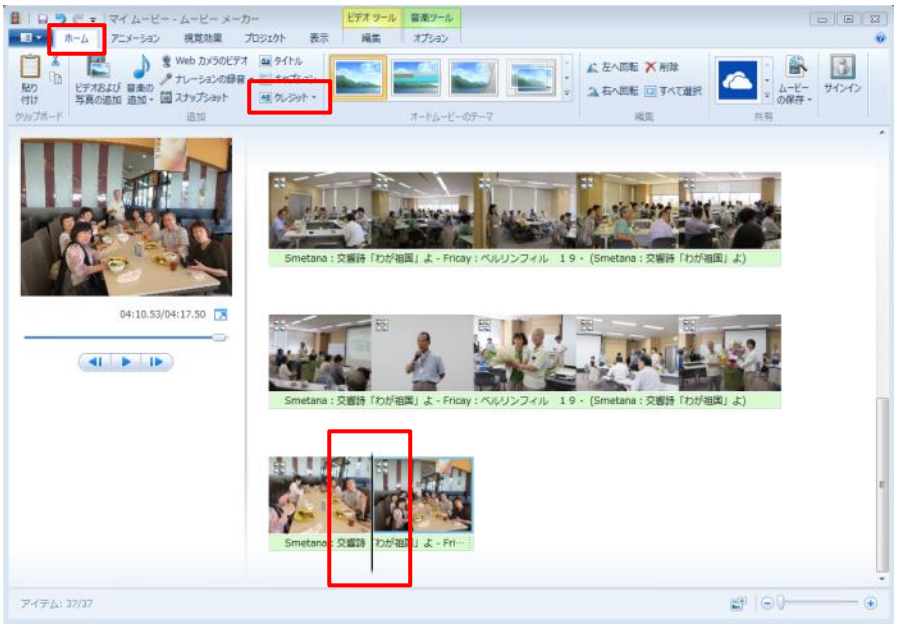
③BGM が挿入されると画像の下に曲名が書かれた緑の帯が曲目の長さ分だけ表示されます。



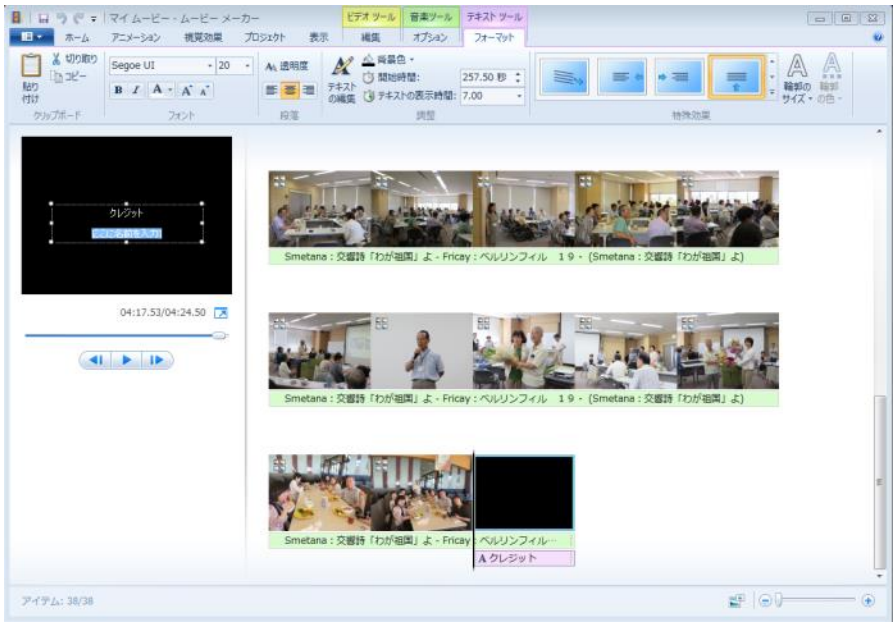
BGM が挿入されました。

6．クレジットを挿入します。（クレジットには制作者、主演者、撮影場所、音楽名などを入れます。）

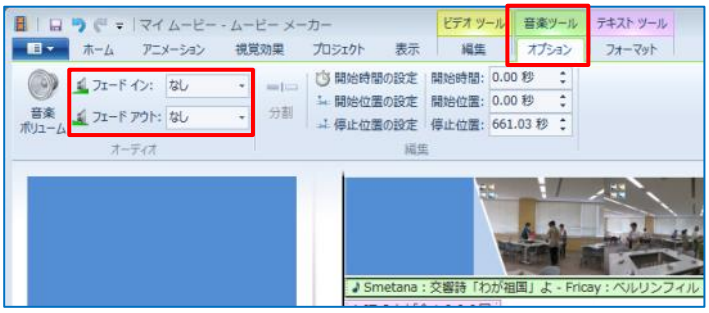
①クレジットを挿入するには、最後の画像を選択してから、ホームタブ→クレジットをクリックする。



①クレジットが挿入されると前で設定した、タイトルの設定と同じ要領で名称を入力して、背景色や文字サイズ、文字色を編集します。

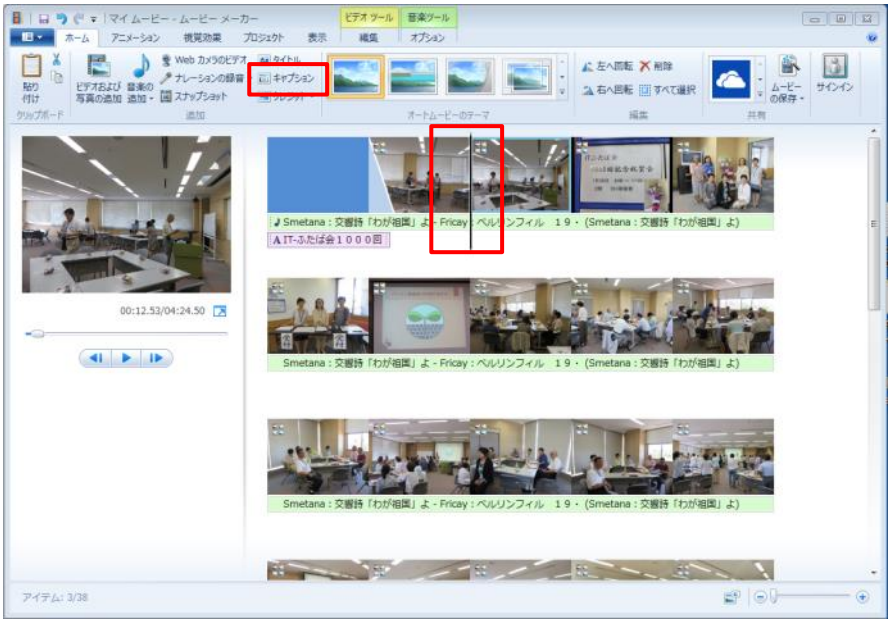


②フェードイン、フェードアウトを設定するには、BGMを選択して、音楽ツール→オプション→フェードイン、フェードアウトをクリックして設定する。



８．キャプション（写真の説明等）を入れます。

①キャプションを入れるには入れたい写真を選択して、ホームタブ→キャプションをクリックします。



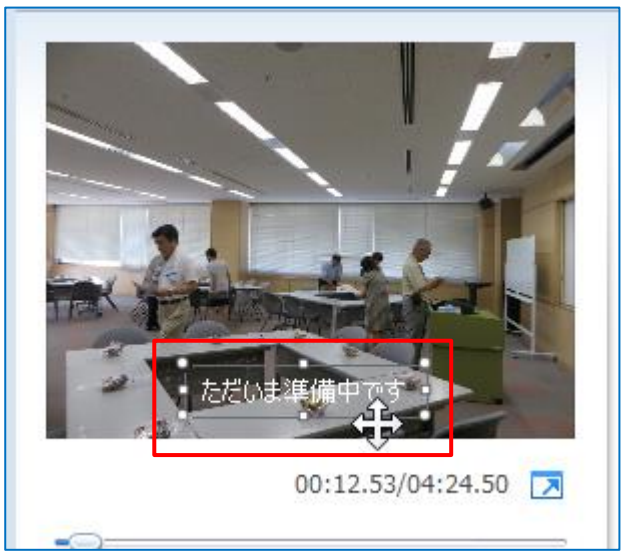
②プレビュー画面に「ここにテキストを入力」と表示されるので、そのまま名称を入力します.

※プレビュー画面で確認しながら順次キャプションを入力していきます。

③入力したキャプションはドラッグして自由に配置出来ます。

④タイトル編集と同様にフォントサイズや色の変更も出来ます。

※プロジェクトタブ→音楽に合わせる。をクリックすると音楽に合わせて画面も終了するように設定出来ます。



⑤取り込んだ写真の表示する順序を変更したい時は、写真の順序を入れ替えしたい場所迄ドラッグする。

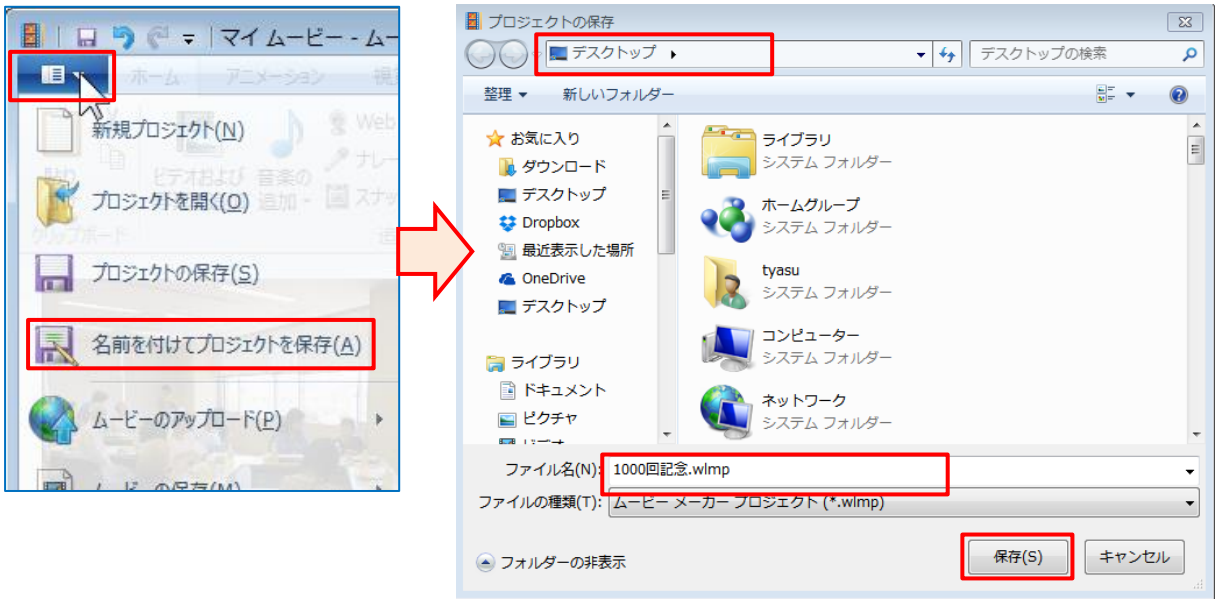
⑥不要な写真があるときは、その写真を選択して「Delete」キーを押す。

⑦写真を追加したいときは、追加する写真が入っているフォルダーを開いて追加したい場所までドラッグすると良い。

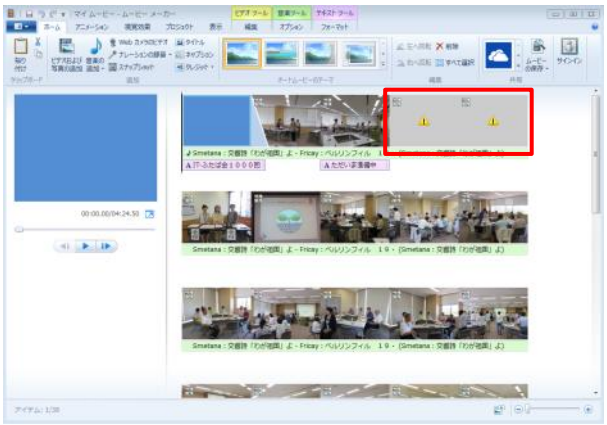
9．作業中のファイルを編集状態で保存しておくことで後で再編集することが出来ます。編集状態のファイルは（拡張子.wlmp）で保存されます。

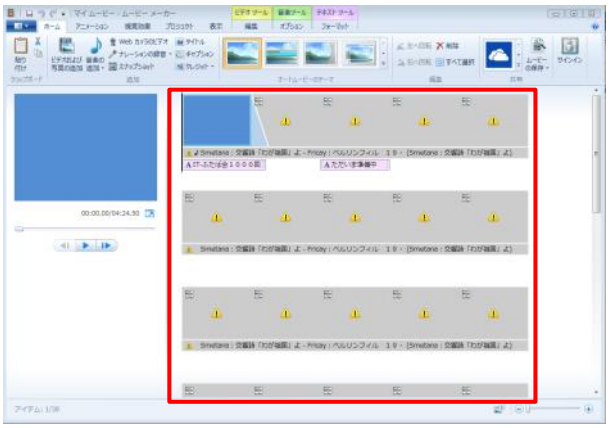
①編集状態を保存するには、「ムービーメーカー」ボタン→名前を付けてプロジェクトを保存をクリックします。

②プロジェクトの保存画面が開くので、保存場所、ファイル名を設定して保存をクリックします。

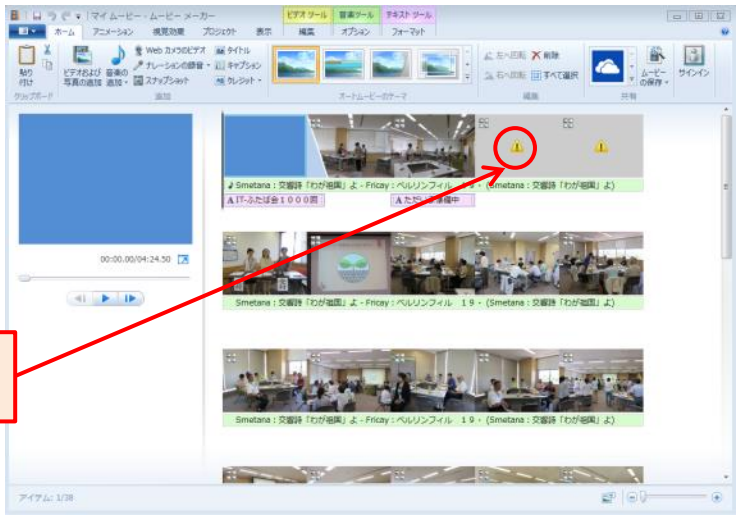


③再編集するために保存したプロジェクトを開くと、画像や BGM が表示されずエラーとなることがあります。これは編集で使った画像や BGM のファイルが移動したり削除されたことが原因です。



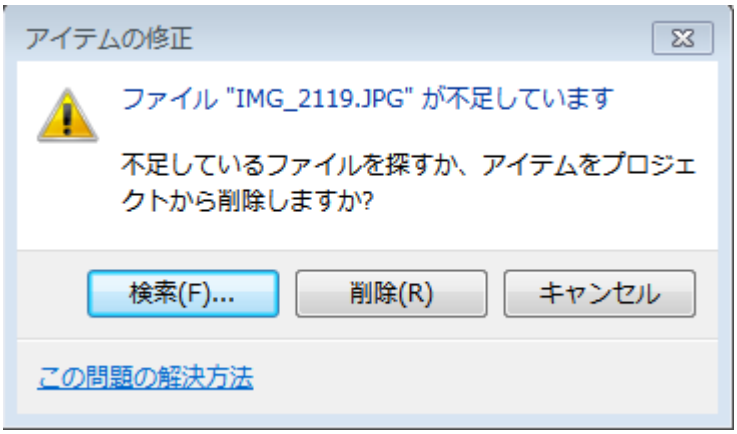


④元のファイルや BGM を探すには表示された、「びっくりマーク」をダブルクリックします。

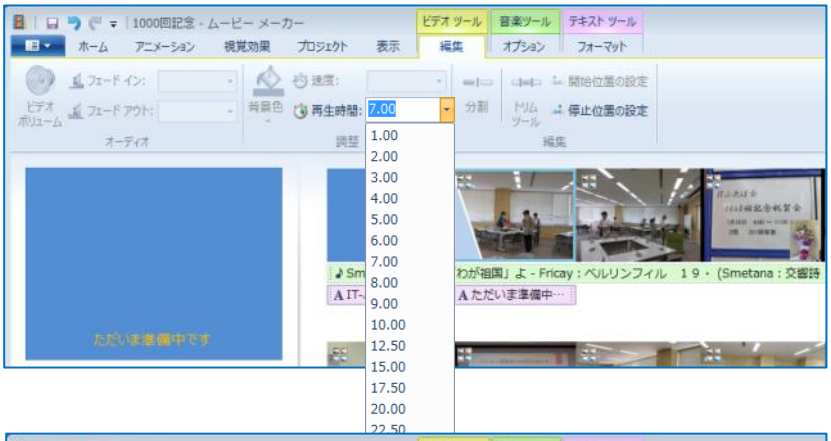


⑤アイテムの修正が開くので「検索」ボタンをクリックして元のファイルがある場所を探すことが出来ます。

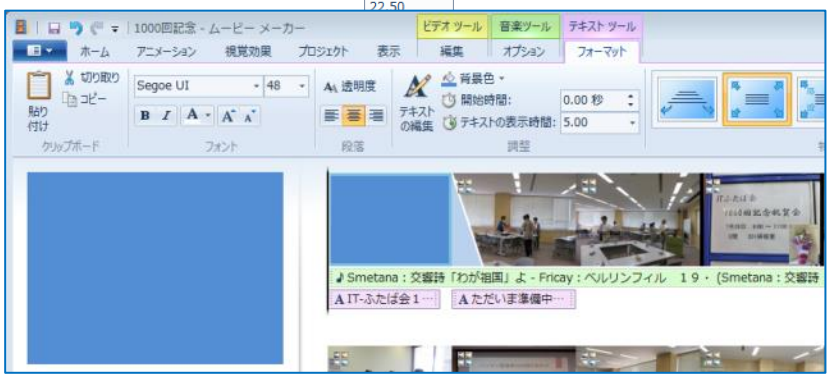
※元のファイルが削除されてパソコンの中に無いときは復旧できません。



⑥画像やタイトルのテキスト表示時間を変更するには、画像の場合はビデオツール→編集→再生時間の右「▼」をクリックして希望の時間をクリックします。



テキストの表示時間変更はテキストツール→フォーマット→テキストの表示時間→「▼」をクリックして変更します。

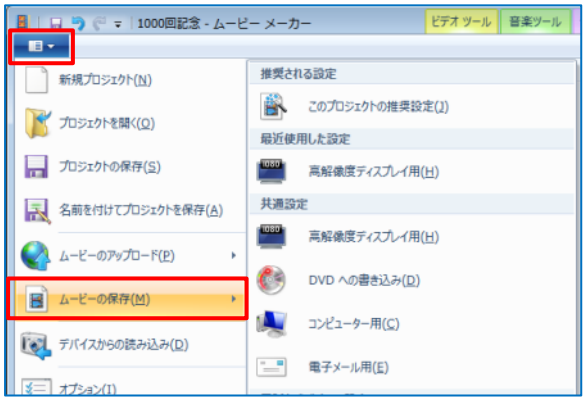


１０．作成したムービーの保存

※ムービーの保存をする事が出来るファイルの形式は
・Windows Live Movie Maker（Vista）では WindowsMedia ビデオファイル（拡張子 .wmv）
・Windows Movie Maker（Win7 以降）では MPEG-4/H.264 ビデオファイル（拡張子 .mp4）
として保存されますが後者は（拡張子 .wmv）として保存することも可能ですが
wmv は MediaPlayer 専用なので汎用性の高い mp4 での保存が良いでしょう。

①作成したプロジェクトをムービーとして保存するには、ホームタブ→ムービーの保存をクリックすると設定のメニューが開くので保存するムービー形式をクリックします。

・ムービーメーカーボタン→ムービーの保存でも同じメニューが開きます。



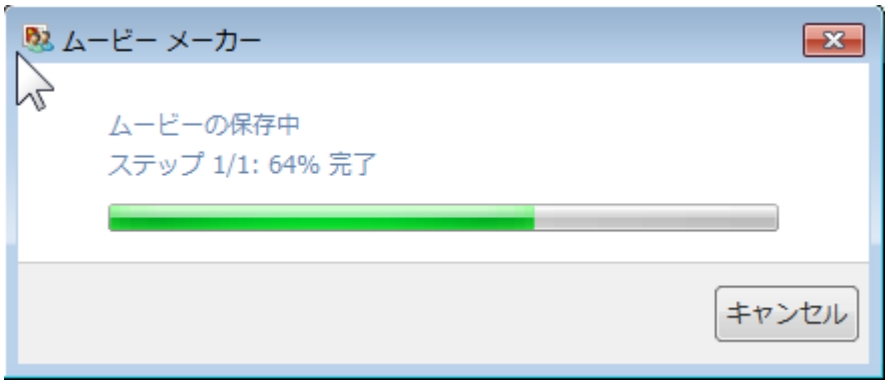
※保存するムービーファイルの改造では、下表を参考にしてください。

設　　定	画面サイズ（ピクセル）	１分あたりの容量
このプロジェクトの推奨設定	1280×720	72.44MB
高感度ディスプレイ用	1920×1080	173.03MB
DVD への書き込み　*1	720×480	21.39MB
コンピュータ用	854×480	40.71MB
電子メール用	426×280	11.42MB
Youtube 用　　*2	1280×720	37.14MB

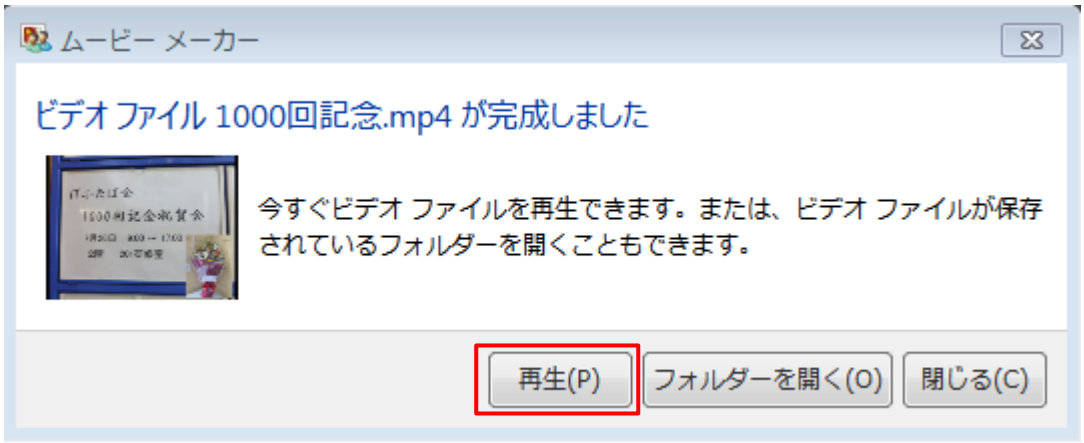
※Windows8 以降のパソコンでは DVD への書き込みが出来なくなっていますので*1のメニューは表示されません。

②開かれたダイアログボックスから保存場所、保存するファイル名、保存するファイルの形式を選択して「保存」ボタンをクリックします。

③ムービーの保存が開始されます。



④保存が正常に完了すると以下のメッセージが表示されます。



⑤再生をクリックすると作成したムービーの再生が始まります。フォルダーを開くをクリックすると保存したムービーファイルが確認できます、終了するには閉じるをクリックします。
⑥ムービーの保存と再生出来ることが確認できたらムービーねーカーを終了します。

※作成したムービーファイル（拡張子 .wmv、.mp3）はすべてのパソコンで再生することが出来ますが、TV 画面では見ることが出来ませんので DVD に焼く必要があります。

Windws7 以前のパソコンでは、ムービーファールをそのまま DVD メーカーを使って DVD に焼くことが出来ますが、Windws8 以降はその機能が無くなりましたので専用の DVD 書き込みソフト、DVDFlick（フリーソフト）などを使う必要があります。

今回の講座では DVD への書き込みは行いませんので、DVD への書き込みについて詳しく勉強したい方は Plaza で、別の講座で勉強会を行っていますので、そちらの講座を受講していただくと良いです。